

# あわらし行政評価外部評価委員会

日時 令和6年3月22日（金） 15:00～

場所 あわらし役所 203会議室

## 会 議 次 第

1 あいさつ

2 議 事

令和5年度施策評価（令和4年度実績）について

3 その他

自然と共生していくために、自然環境の保全に努めるとともに、限りある資源とエネルギーの有効利用を図り、環境にやさしい循環型社会の構築を目指します。

また、災害に強く、犯罪や交通事故のない誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
1 環境の保全	環境保全意識の啓発、環境調査・発生源対策、森林の保全・再生
2 循環型社会の構築	ごみの収集運搬、し尿・汚泥の適正な処理、5Rの推進
3 地域防災の強化	地域防災計画の習熟、消防防災・救急救助活動の運営、消防団の強化
4 安心なまちづくりの推進	防犯対策の充実・強化、交通安全対策の充実、空き家の利活用

【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R4年度 の実績	R7年度 の目標値
	※ (↓)は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
1	1	道路や空き地にごみなどが少なくまちが清潔だと考える市民の割合	66.4%	75.0%
	2	市民・団体の環境イベント開催数	27回	30回
	3	豊かな自然に恵まれていると考える市民の割合	89.8%	95.0%
2	4	ごみ減量化や資源リサイクルが進んでいると考える市民の割合	55.1%	75.0%
	5	市民1人1日当たりのごみ排出量 (↓)	902g	850g
	6	市民1人1日当たりの家庭ごみ排出量 (↓)	754g	700g
3	7	自主防災組織の設立数 (全132区中)	110区	120区
	8	避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合	36.4%	40.0%
	9	防災士資格取得者数	98人	100人
4	10	犯罪が少なく安心して暮らせるまちだと考える市民の割合	79.2%	87.5%
	11	交通事故発生件数 (↓)	28件	30件
	12	消費者保護対策が充実していると考えられる市民の割合	24.9%	30.0%
	13	特定空家等の件数 (↓)	9件	8件

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
1	<p>市民主役のまちづくりの観点から、海岸清掃など、市民が主体的に取り組む環境保全活動を活発化させるための仕掛けづくりを検討されたい。</p>
2	<p>資源回収量増加に向けた取組を検討するとともに、ごみ減量化やリサイクルに関する意識啓発をより一層強化されたい。</p>
3	<p>県や他市町の動向も注視しつつ、地域防災計画の見直しを検討されたい。また、災害に強いまちづくりに向け、自主防災組織や防災士の充実を図るとともに、誰もが避難場所を理解できるよう、新たな取組も検討されたい。</p>
4	<p>乗合タクシーの推進は、交通事故の減にもつながる大事な施策であり、免許返納を奨励するような仕掛けを組み合わせ検討されたい。</p> <p>また、横断歩道前での一時停止が全県下で問題視されている中、金津中学校ではどうしたらドライバーが止まるかを研究した。そのデータを活かした取組をゼロ予算でもいいので検討されたい。</p>

赤ちゃんから高齢者まで、健常な人もそうでない人も、誰もが生涯にわたって健やかに人生を過ごすために、健康、福祉、社会保障の各分野において連携のとれた施策を展開することで、いきいきと暮らすことができるまちづくりを推進します。

【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
5 保健医療の充実	市民検診の推進と保健指導、予防接種の推進、総合的な支援体制の強化
6 健康づくり活動の実践	健康に対する意識の醸成、生活習慣病の予防、食育推進計画の推進
7 地域福祉の推進と災害支援	地域福祉活動支援事業、民生委員・児童委員との連携・支援
8 人権の尊重	男女共生社会の推進、男女平等意識の啓発
9 高齢者福祉と介護保険の充実	高齢者の生きがいと健康づくりの推進、介護予防事業の推進、フレイル予防事業の充実
10 障害者福祉の充実	障害者福祉計画の推進、障害者福祉サービスと見守り体制の充実、権利擁護体制の充実
11 児童福祉の充実	認定こども園における保育・教育サービスの充実、放課後子どもクラブの運営、あわらっこ子育て支援の充実
12 社会保障制度の充実	国民健康保険事業の運営、後期高齢者医療制度の運営、生活困窮者への支援

【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R4年度 の実績	R7年度 の目標値
	※ (↓) は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
5	1	特定検診受診率	33.7%	40.0%
	2	各種がん検診受診率	38.0%	40.0%
6	3	市民の健康維持・健康づくりなどへのサポートが進んでいると考える市民の割合	49.0%	60.0%
	4	朝食を食べない中学生の割合 (↓)	7.3%	0.0%
8	5	各種審議会委員に占める女性委員の割合	32.7%	40.0%
9,10	6	高齢者や障がいのある人が生活しやすいまちだと考えている人の割合	33.3%	35.0%
	7	総人口に占める要支援および要介護認定者の割合 (↓)	16.8%	6.0%
11	8	妊娠期からの相談や経済的支援などの子育て環境が充実していると考えられる市民の割合	34.9%	65.0%
	9	こども園における幼児教育が充実していると考えられる市民の割合	48.2%	65.0%
12	10	1人当たり国民健康保険医療費 (↓)	460,639円	400,000円
	11	国民健康保険税の収納率	96.9%	100.0%
	12	生活保護費保護世帯数 (↓)	109世帯	108世帯

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
5	引き続き健診受診率の向上に向けて啓発に努められたい。健康づくり施策においてもデジタルの活用を検討されたい。
6	健康づくりにおいては、家の外に出ることが大切であり、外出が億劫な高齢者の方に向けて、乗合タクシーや地域通貨で外出を促すような施策を検討されたい。
7	10年後、20年後の民生委員・児童委員の確保に向けた対策を今から考えていくことが大事である。
8	継続して女性登用の推進を図るとともに、若い世代には男女共同という考え方が定着しつつあるので、子育て支援という観点からも男性の育休取得の推進を図られたい。
9	誰一人取り残さないまちづくりとして、単身高齢者の世帯の見守り体制を強化するとともに、そのような制度・取組のPRに取り組まれたい。
10	令和5年度から開設した福祉まるごと相談所を適切に運用し、相談支援体制の充実に努められたい。
11	制度上の子育て支援が年々充実している中で市民アンケートの数値が下がった要因を分析されたい。
12	引き続き1人当たり医療費の抑制のため、不要な受診を抑える仕組みを検討するとともに、ジェネリック医薬品の普及啓発に努められたい。

学校・家庭・地域が一体となって、心豊かでたくましい子どもたちを育てるとともに、生涯にわたって多世代が学びの心を育て、豊かな文化があふれるまちづくりを目指します。

【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
13 学校教育の充実	確かな学力の育成、ふるさと教育の充実、特別支援教育の充実、学校給食の充実、ICT環境の整備
14 青少年の健全育成	スポーツ少年団活動への支援、少年愛護センターの運営、成人式を通じた地元意識の醸成
15 生涯学習の推進	生涯学習推進体制・地区推進体制の整備、図書館機能の充実
16 生涯スポーツの推進	スポーツ団体の育成・支援、体育施設の充実と効率的な活用
17 文化と芸術の振興	文化財の調査と保護・活用、郷土歴史資料館の管理運営、文化活動団体の支援、金津創作の森の管理運営

【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R4年度 の実績	R7年度 の目標値
	※（↓）は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
13	1	小・中学校の施設が充実し、学習しやすい環境が整備されていると考える市民の割合	49.4%	60.0%
14	2	スポーツ少年団児童登録率	30.2%	38.0%
15	3	公民館講座受講者数	39,879人	55,000人
	4	生涯を通じた文化活動や学習の機会が充実していると考えられる市民の割合	34.7%	45.0%
	5	図書館来館者数	54,020人	70,000人
16	6	手軽にスポーツに親しめる環境が整っていると考える市民の割合	37.4%	50.0%
	7	ニュースポーツ参加者総数	284人	1,200人
17	8	郷土歴史資料館入場者数	3,329人	7,000人
	9	金津創作の森美術館入場者数	70,816人	160,000人

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
13	学力基本調査の結果を見ても、本市の学校教育レベルは自慢できるものである。引き続き、教育環境の充実に努めるとともに、ふるさと教育、キャリア教育なども推進されたい。
14	社会醸成や生活環境の変化に応じ、健全育成・非行防止に向けた指導を引き続き推進されたい。
15	アフターコロナで公民館・図書館の利用者数が上昇傾向であり、これを機に新たな利用者層を取り込むことも重要である。市民満足度の向上に向け、魅力的な生涯学習環境の構築・サービス向上に努められたい。
16	引き続き市民がスポーツに触れる機会を創出するとともに、情報発信の強化にも取り組まれたい。
17	新幹線開業を控える中、「ならでは」の体験を提供できる郷土歴史資料館は、より多くの方に来ていただくよう、高い目標値をもって取り組まれたい。

便利で快適な生活を送るために、上下水道や道路網、公共交通体系などを整備し、快適な住環境を備えた住みやすいまちづくりを推進します。

【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
18 土地利用の適正化	計画的な土地利用の推進、地籍調査の推進
19 道路交通網の整備	国道の整備促進、市道・橋りょうの改良、道の駅の整備と運営
20 新幹線開業に向けたまちづくり	北陸新幹線の整備促進、芦原温泉駅周辺の整備、並行在来線への対応
21 機能的なまちの整備と景観への配慮	都市公園・緑地の良好な管理、市民・事業者との連携による景観活動の推進、デマンド方式による公共交通の運行
22 上水道事業の運営	水道施設の維持管理と運営、水道施設の計画的な更新
23 下水道事業の運営	公共下水道の維持管理と運営、下水道の整備促進

【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R4年度 の実績	R7年度 の目標値
	※ (↓) は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
19	1	道路が効率的・効果的に整備されていると考える市民の割合	38.3%	50.0%
	2	都市計画道路の整備率	56.9%	62.0%
21	3	公共交通機関が効果的に運行されていると考える市民の割合	25.6%	30.0%
	4	景観に配慮したまち並み整備が行われていると考える市民の割合	30.1%	30.0%
22	5	安全でおいしい水が供給されていると考える市民の割合	80.8%	85.0%
23	6	計画区域内公共下水道接続率	94.6%	95.0%
	7	下水道使用料収納率	99.4%	100.0%

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
18	次期都市計画マスタープランの改定に向け、作業を着実に進められたい。
19	南中央線の早期整備に向けて県への要望活動を強化されたい。
20	駅周辺の整備は一旦完了したものの、これがゴールではなくスタートだという意識をもち、駅周辺の魅力向上に取り組まれたい。
21	市民の身近な移動手段として乗り合いタクシーの利便性を高めつつ、将来的に子どもの移動支援としても活用する方法を検討されたい。
22	計画性をもって包括民営化に向けて取り組むとともに、県水責任数量の見直しについて、県に対する要請をより一層強化されたい。
23	引き続き、持続可能な施設の管理を進めるとともに、中長期的な視野に立った経営に努められたい。また、下水道接続率の向上に向けた取組を推進するとともに、未整備区域の整備方針について、引き続き検討されたい。

福井県でもトップレベルの製造業を中心とした産業をさらに発展させるとともに、福井県随一の温泉観光地「あわら温泉」を中心ににぎわいと活力あるまちづくりを推進します。

**【 施策の概要 】**

基本施策	施策を構成する主な事務事業
24 観光の振興	国際的な観光まちづくりの推進、広域観光の推進、インバウンド誘客の推進
25 農業の振興	農地の適正管理、担い手の育成と支援、スマート農業への支援
26 林業の振興	林道の整備と管理、経営体制の強化
27 水産業の振興	水産業の振興、水産物の認知度向上
28 工業の振興	企業や事業者のニーズ把握、企業立地の促進
29 商業・サービス業の振興	地域ブランド化への支援、中心市街地の活性化、資金調達の円滑化と人材育成支援
30 雇用環境の充実	働きやすい環境づくり、勤労者福祉の向上
31 交流の推進	姉妹都市交流の推進、世界を視野に入れた人材の育成

**【 施策の指標・目標の達成状況 】**

施策	指標・目標		R4年度 の実績	R7年度 の目標値
	※ (↓) は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
24	1	観光入込客数	1,308,700人	220万人
	2	宿泊観光客数	501,300人	100万人
	3	外国人宿泊客数	736人	5万人
	4	観光地としての魅力があると考える市民の割合	28.4%	40.0%
25	5	坂井北部丘陵地の耕作率	57.8%	73.0%
	6	学校給食における地元食材の使用率	62.2%	70.0%
	7	新規就農者数（市の認定による） ※直近5か年の累計	7人	15人
	8	担い手の農地集積率	74.6%	76.0%
28	9	年間製造品出荷額	-	2,020億円
29	10	日用品などの買い物がしやすいと考える市民の割合	56.6%	65.0%
30	11	働きやすい環境が整っていると考える市民の割合	35.7%	50.0%

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
24	<p>新幹線開業を目前に控え、広域連携や市内観光資源の磨き上げなど、引き続き観光施策を着実に進められたい。</p> <p>また、あわら温泉エリアを核とする観光まちづくりビジョンの策定に取り組まれたい。</p>
25	<p>現在の農業従事者に対する支援も大事だが、10年、20年後に世代交代の時期を迎えたときに円滑に承継できるよう、後継者施策を引き続き検討されたい。</p>
26	<p>森林整備構想に基づく施策を着実に実行するとともに、木材の有効活用や人材育成、担い手確保など、坂井森林組合との連携も含め長期的視野に立った施策の充実を図られたい。</p>
27	<p>北潟湖の魅力向上に努めるとともに、北潟湖自然再生協議会や（一社）なみまち倶楽部等との連携を強化し、漁業と観光を融合させたブルーツーリズム等の実施に向けた具体策の検討を進められたい。</p>
28	<p>創業・事業拡大を検討している事業者のニーズ把握に努め、フレキシブルで使いやすい支援制度を検討されたい。</p>
29	<p>空き店舗情報バンクの充実を図り、まちなか空き店舗の解消に努められたい。</p> <p>また、事業者のニーズ把握に努め、新商品開発や新規出店に対する支援の充実を検討されたい。</p>
30	<p>支援制度の情報発信を強化し、認知向上に努められたい。</p> <p>北陸新幹線開業に伴い、市内から金沢市などへ通勤する方への支援制度などを検討されたい。</p>
31	<p>国際交流に関心のある市民・学生の活動を支援する仕組みや、市内在住の外国人との交流を推進する仕組みを検討されたい。</p>

地域の主体性が求められる地方分権社会を迎え、自立した自治運営を可能とする強固で信頼される行財政基盤の確立を目指します。

そして、市民と行政が互いに自治意識を持ち、共動による市民主体のまちづくりを推進します。

【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
32 市民主役のまちづくり	まちづくり活動への支援、市民の参画機会の充実
33 情報化の推進	電算処理システムの運用、個人番号カード（マイナンバーカード）の普及と利活用
34 人口減少対策	移住者支援の充実、出会いから成婚までの支援
35 持続可能な行財政の運営	多様な働き方の推進、ICT などの積極的な活用、ふるさと納税などの活用

【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R4 年度 の実績	R7 年度 の目標値
	※ （↓）は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
32	1	市民の声が市政に届き、市民参画の機会が充実していると考える市民の割合	14.7%	25.0%
	2	行政情報が分かりやすく公開されていると考える市民の割合	43.9%	55.0%
	3	ホームページアクセス数（1日平均）	1,172 件	1,200 件
34	4	UIJ ターンの移住者数（県およびあわら市の移住施策による）	84 人	100 人
	5	合計特殊出生率（15歳から49歳までの年齢別出生率の合計）	1.39	1.63
35	6	実質公債費率（↓）	7.0%	7.2%
	7	市税収納率（現年度分）	99.3%	100.0%
	8	将来負担比率	28.0%	60.0%

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
32	R5 年度から設立した情報発信戦略チームを中心に、分かりやすい市政の情報発信に努めつつ、広聴機能の強化についても検討されたい。
33	ありとあらゆる場面でデジタル化が進む中で適切に DX を推進していくため、庁内で取り組んでいるものだけでなく、民間での動きも把握するよう努められたい。
34	<p>市の政策全てが人口減少対策であるという認識のもとで全庁的に取り組むべきテーマであり、R5 年度から設立した人口減少対策チームを中心に部局の壁を越えて対策に取り組まれたい。</p> <p>また、引き続き結婚しやすい環境の整備に努められたい。</p>
35	<p>行財政改革の一環として、既存業務の中でスクラップや省力化できるものがないか洗い出し・見直しを行うことを検討されたい。</p> <p>また、企業版も含めてふるさと納税の納税額増加に引き続き努められたい。</p>